

科目名	地誌学特講		担当教員	森田 匡俊	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED3SGG407
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	①世界各地の自然環境、民族・言語、歴史、政治体制、経済システムといった地域ごとの特徴を理解すること、②世界各地の諸問題の発生メカニズムを地域の特徴と絡めて考察できるようになること、以上の2点を到達目標および講義テーマとする。				
授業の概要	講義では、まず地誌学のアプローチ方法を学び、次に日本や世界各地の地誌を学び、各地域が抱える諸問題をローカルな視点（その地域の文脈）とグローバルな視点（他の地域との関係）の双方向から考察していく。世界各地の時事問題に関する話題を受講者に発表してもらい、受講者間でディベートする時間を毎回設ける。				

授業計画	
第1回	地誌学のアプローチ（ローカルな視点とグローバルな視点）
第2回	地域比較を通じた地域理解（イギリスを事例に）
第3回	地域比較を通じた地域理解（ロンドンを事例に）
第4回	対象を通じた地域理解（フットボールを事例に）
第5回	地誌学および地理教育の役割とは（小括）
第6回	東アジア地誌
第7回	東南アジア地誌
第8回	南アジア・西アジア地誌
第9回	アフリカ地誌
第10回	西ヨーロッパ地誌
第11回	東ヨーロッパ地誌
第12回	北米・中米地誌
第13回	南米地誌
第14回	オセアニア地誌
第15回	学修到達度の確認試験および解説と授業全体の総括

事前学修	2時間	新聞やTVニュースをチェックし、世界各地の時事問題を把握しておくこと。次回の講義時に時事問題を紹介・解説する受講者は、その時事問題について深く情報収集し、発表用スライドや配布資料等の準備をしておくこと。
事後学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の結果について、講義内で紹介しコメントする。個別の質問には随時コメントする。発表については、全体質疑の後にコメントし、総合評価を説明する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	15%	各回の内容理解度に応じて評価する。
上記以外の試験・平常点評価	25%	講義内での質疑や討論への参加状況、及び最終課題により評価する。
上記以外の試験・平常点評価	60%	学修到達度の確認試験により評価する。
定期試験	0%	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.
参考資料	適宜紹介する.			